

Title	ネットワーク型流通システムの形成と流通競争の新展開
Sub Title	
Author	井上市郎(Inoue, Ichirou) 嶋口充輝
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1987
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1987年度経営学 第525号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001987-0525

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名 井上市郎 主査 嶋口充輝
(日本ユニバック株式会社) 副査 奥村昭博
所属ゼミナール 和田充夫 研 和田充夫

ネットワーク型流通システムの形成と流通競争の新展開

近年、産業全般にわたって急速に情報化が進み、流通業もその例外ではない。流通業における情報化は、流通業の合理化を促進し生産性の向上をもたらしたばかりでなく、従来その零細性ゆえに競争力、交渉力を形成できなかった中小小売商に情報武装型流通システムとしての飛躍の道を与えた。

その結果、多数の中小小売商を情報ネットワークで連結し、チェーン・メリットを追及すると同時に収集・蓄積した情報を経営資源として活用する『情報ネットワーク型流通システム』が誕生した。

本論文では、『情報ネットワーク型流通システム』の一例として、ボランティア・チェーンとフランチャイズ・チェーンの事例を研究し、これらの『情報ネットワーク型流通システム』が情報を源泉としたネットワーク・パワーを形成する要因と過程を考察した。さらに、各事例が蓄積した情報を自らの組織および店舗業態の変革にいかにより活用しているかを検討するとともに、情報資源をパワー資源として活用することにより在来の流通機構のパワー構造再構築の可能性を考察した。

以上のような考察をもとに、本論文では特にボランティア・チェーンの『情報ネットワーク型流通システム』の将来像を、情報戦略と組織戦略の側面から描き出しその結論とした。